



CTF

(Capture The Flag)

1



CTFってなに？

CTF (Capture The Flag) は、サイバーセキュリティのスキルを競うコンテストです。参加者は、さまざまなセキュリティ関連の課題を解決し、隠された「フラグ」を見つけることを目指します。このフラグを見つけることでポイントを獲得し、最終的なスコアを競います。総務省のCTFでは、仲間と協力して課題に取り組むことを楽しむ目的で参加する方も歓迎です。

2



CTFの魅力って？

【実践的な学びの場】

教科書だけでは得られない、リアルなセキュリティ問題を解決する経験を積むことができます。

【チームワーク】

問題を解決するためには、チームメンバーとの協力が不可欠です。異なる視点やスキルを持つ仲間と共に挑戦することで、コミュニケーション能力や協調性を養うことができます。

【達成感】

難解な問題を解き、フラグを見つけたときの喜びは格別です。この達成感は、次の挑戦へのモチベーションとなり、自信を深めることにつながります。

3



楽しむ気持ちを大切に！

サイバーセキュリティは今後ますます重要になる分野です。CTFで培ったスキルや経験は、就職活動やキャリア形成において大きなアドバンテージとなるでしょう。CTFは、楽しく学びながら自分自身を成長させる絶好の機会です。ぜひ参加して、サイバーセキュリティの世界に飛び込んでみてください！



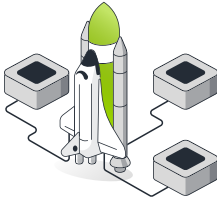
くらしの中に

総務省



©2026 Kansai Institute of Information Systems All Right Reserved.

4



問題を解いてみよう！

暗号・ネットワーク・画像解析・Webなど、複数のカテゴリに分かれた問題を解きます。難易度に応じて各問題ごとの得点が決められています。仲間と相談したり、インターネットでツールの使い方を調べたりしながら解き進めることもできます。

以下は問題の一例です。

Crypto(暗号解読)



与えられた文字列(暗号)を、様々なルールで置き換えること等により復号し、フラグ(答え)を読み取ります。

Challenge

暗号解読
100

synt(UNCCL PGS)

Flag

Submit

Caesar暗号 (ROT13) を使い
アルファベットを13文字分
前にずらして復号すると

flag{HAPPY CTF}

OSINT(公開情報からの探索)



ヒントをもとに、インターネット等で公開されている情報を検索し、フラグを見つけます。効率的に情報を検索する能力が求められます。

Challenge

Airport
50

どこで撮られたのでしょうか？都道府県で教えてください。

flag[答え]

010.JPG

Flag

ファイルを開くと...

公開されている情報源(オープンソース)から必要な情報を収集・分析して解きます。画像検索すると北海道にある新千歳空港で撮影されたことが分かります。

flag{Hokkaido}

Network (ネットワーク解析)



パケットと呼ばれる、ネットワーク通信の際に流れるデータを解析する等によりフラグを見つけます。

Challenge

隠されたネットワーク
50

flagを探してください。

capture.pcap

Flag

Submit

通信がキャプチャされたpcapファイルがあります

通信パケット解析ツール
(Wireshark等)で開くと...

「/index.html?flag=HELLO_WORLD」
というリクエストが見えます

flag{HELLO_WORLD}